事例No.	1133
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	静岡県浜松市

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・教育・子育て ・情報公開

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

FSC認証を活用して持続可能な森林経営管理を目指す

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

静岡県　浜松市（FSC認証を活用して持続可能な森林経営管理を目指す）

- 浜松市は、全国２番目の市域面積を誇り、その約66%(３分の２）にあたる10万haが森林で民有林に占める人工林率は76%と県平均の56%を大きく上回る。天竜川本流とその支流では日本三大美林のひとつである「天竜林業」が営まれており、経済と公益を両立する森林を育む技として、市の森林形成に大きな役割を果たしている。
- 今後も継続して森林の多面的機能の働きを高め、林業が育んだ森林資源を活用するため、森林環境譲与税を活用し、多様な施策に取り組んでいく方針。
- 令和２年度は「（仮称）浜松市森林・林業未来構想会議」を新設し、譲与税の活用計画を林材業関係者等と十分議論し、関係者等の意見を考慮して策定する予定。



丸太がモチーフのラッピングバス　天竜材が東京2020大会関連施設で使用されることなどをPR

□ 事業内容

1　森林経営管理事業

- 適切に整備されていない森林を林業事業体に繋げるための森林所有者への意向確認等を行い、次年度以降の森林整備に繋げる。

【事　業　費】14,278千円（うち譲与税14,278千円）

【実　　績】

・４地区160.6ha、96人の森林所有者に意向を確認したところ100ha以上の森林で森林組合の管理による森林経営計画策定に同意済。

・今後は同地区で間伐99haを実施する予定。

2　森林環境教育推進事業

- 市内外を問わず幅広い世代、 団体等を対象にした森林環境教育の受入れ体制を整備する。
- 森林環境教育プログラム及びパンフレットを作成するとともに、森林環境教育の試験的受入れを実施する。

【事　業　費】1,960千円（うち譲与税1,960千円）



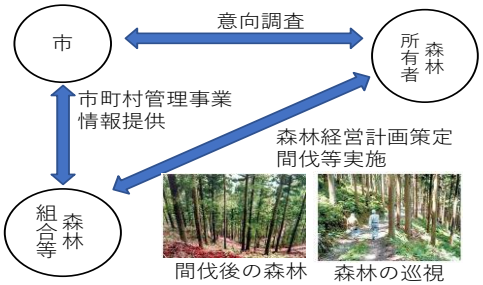
（首都圏高校の林業体験受入）



（なかのエコフェアでの体験講座）

□ 事業スキーム

市の意向調査を踏まえ、森林組合等林業経営体による森林経営計画に基づく森林管理を促進。また、令和２年度以降は、森林経営管理制度を活用した経営管理権集積計画に基づき市町村森林管理事業を実施する予定（4.48ha）。



□ 工夫・留意した点

- 森林経営管理事業の対象地でFSC森林認証の取得を進め、国際制度であるFSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林経営を推進する。
- 各種制度や国県補助金等を有効活用し森林管理を進めていく。
- 首都圏の大都市等に森林整備の意義や木材利用の有用性を伝え、連携促進を図り、交流人口の拡大を実現させるとともに、天竜材の需要拡大等による持続可能な森林経営・管理を実現する。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	121,348千円
②私有林人工林面積（※１）	56,361ha
③林野率（※２）	65.3%
④人口（※３）	797,980人
⑤林業就業者数（※４）	546人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」